

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2012-184849(P2012-184849A)

【公開日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-039

【出願番号】特願2012-106644(P2012-106644)

【国際特許分類】

F 16 J 15/10 (2006.01)

【F I】

F 16 J 15/10 A

F 16 J 15/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月2日(2012.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感圧性粘着剤にノンハロゲン系難燃剤を配合せしめた粘着剤組成物によって形成されたノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートを主体とするガスケットであって、少なくとも片面が前記ノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートの粘着面からなることを特徴とする、ガスケット。

【請求項2】

ノンハロゲン系難燃剤がリン系難燃剤である、請求項1記載のガスケット。

【請求項3】

ノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートが粘着付与樹脂を含有する、請求項1または2記載のガスケット。

【請求項4】

粘着付与樹脂がテルペン系粘着付与樹脂又はロジン系粘着付与樹脂である、請求項3記載のガスケット。

【請求項5】

粘着付与樹脂がロジンエステル類である、請求項4記載のガスケット。

【請求項6】

粘着付与樹脂がテルペンフェノール樹脂である、請求項4記載のガスケット。

【請求項7】

粘着付与樹脂がテルペンフェノール樹脂及びロジンエステル類である、請求項3記載のガスケット。

【請求項8】

当該ガスケットの両面がノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートの粘着面からなる、請求項1～7のいずれか1項記載のガスケット。

【請求項9】

ノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートの一方の片面に基材フィルムが積層され、当該ガスケットの一方の片面が、基材フィルムの表面からなり、当該ガスケットの他方の片面が、ノンハロゲン系難燃剤含有感圧性粘着シートの粘着面からなる、請求項1～7のいずれか1項記載のガスケット。

【請求項 10】

基材フィルムがフッ素樹脂シートである、請求項9記載のガスケット。

【請求項 11】

請求項1～10のいずれか1項に記載のガスケットを2つの面の合わせ面の間に介在させることを特徴とする、2つの面の合わせ面の間の密封方法。